

アスリートに学ぶビジネス成功への軌跡(第50回)

今、伝説がよみがえる「野球の神様」ベーブ・ルース

2022.08.09



ベーブ・ルースという名前は子どもの頃から知っていた。私が名前を覚えたアメリカ人は、まず第35代大統領のジョン・F・ケネディ、次に西部劇のスターであるジョン・ウェイン、その次あたりがニューヨーク・ヤンキースのベーブ・ルースだったように思う。

「ベーブ」というのは、彼の童顔から付けられたニックネームだと知ったのはずいぶん後のことだったが、メジャーリーグ(当時は大リーグと言っていた)のすごい打者だ、というくらいの認識ははるか極東に暮らす少年でさえ持っていたのだろう。改めて彼のキャリアを振り返ると、まさにすごい打者である。

メジャーリーグに1914年から1935年まで在籍したベーブ・ルースは生涯714本の本塁打を放っている。これは1974年にハンク・アーロン選手によって抜かれるまではメジャー記録だった。またキャリアの中で彼は本塁打王に12回輝いている。

ルースはホームランにこだわるバッターだった。同時期に活躍し、首位打者を12回獲得するなど安打製造機と称されたタイ・カップ選手に向かって次のように言ったという。

「そうだな、あんたみたいにコツコツ当ていけば打率6割は打てそうだ。だが、オレの給料はホームランを打つことで払われているんでね」

(負けない心 メジャーリーガー不屈の言葉 広岡勲著)

投手としてキャリアをスタート… 続きを読む